

# ひろがれっど

【ひろがれ、かさなれ、むさしののわ】

2023  
第60号



特集

特技や資格を活かして  
福祉で働く

キルトワークショップ開催

・トップス

●食を通じて地域とつながる

人とつながる

●たて糸よこ糸

小ちゃなアトリエ  
「ひまじなしおん」

●えすぶれつそ

一期一会

各々の「機」を大切に

土井暢子

井口直子

情熱と誇りを胸に

笑門来福

## 特集

# 特技や資格を活かして 福祉で働く

福祉の職場で活かすことのできる「専門性」とは、どのようなものでしょうか。医療・福祉関連の国家資格を思い浮かべる方も多いと思います。実際に当法人にも多くの国家資格保有者がその知見を活かして働いています。

さらに、一見すると福祉とは直接関係のなさそうな特技も、福祉の職場で活かすことができるのです。今号では、意外な特技や職務経験を活かしながら生き生きと働く職員の姿を、いくつかご紹介します。

得意なことをどう仕事に活かしていますか

ご利用者に関わる具体的なエピソードを教えてください。

### みどりのこども館 通園部 ウィズ

木村 清香 (保育スタッフ) **特技→イラスト**

A1 小さい頃からイラストを描くことが好きで、事業所でちょっとしたイラストが必要なときなどに描かせてもらっています。



送迎車のデザイン・イラストを担当しました

A2 市販の絵本だと見てほしいところがわかりにくいうことがありますし、抽象的なものを説明するために視覚的手がかりが必要なときには、オリジナルで教材を作っています。私が作った、桜の木が四季を通じて姿を変える紙芝居は、“季節”をわかりやすく伝えられる教材として毎年ウィズで読まれていて、自分でもお気に入りの1つです。



節分の紙芝居



「さくらのいちねん」の紙芝居



パンフレットのイラストを担当しました

### 武藏野福祉作業所

加藤 直子 (支援スタッフ) **資格→管理栄養士 経験→懐石料理店**

A1 前職では病院給食や懐石料理の和食店で働いていました。これまでの経験を、調理や盛り付け、レストランの新メニュー開発に役立てています。また、ご利用者向けに毎月発行しているおたよりの記事に、栄養の知識を載せています。

A2 ご利用者が、技術習得だけでなく、お客様へのサービスについても意識ができるような支援を心がけています。例えば、お客様をお待たせせず温かいものを提供することや、美味しいように盛り付けることです。ご利用者の成長する姿や、「シェフになりたい」と言う声に元気をもらっています。



一人で安全に包丁を使えるよう見守ります



**わくらす武蔵野**

**柳 亮一郎**

(わくらす副施設長)

**特技→ギター演奏**

**A1** ちょっと手が空いた時間などに、ご利用者の皆さんにギターを弾いています。あまり上手ではないのでご利用者により楽しんでいただけけるよう、練習をがんばります。



ギター演奏をしているところ

**A2** わくらすではないですが、他法人の職員さんとバンドを組んで、施設などのイベントでライブをすることがあります。

**法人本部事務局**

**町田 泰司** (事務員)

**資格→大型二種(大型バス)**

**運転免許**

**A1** 実は自動車販売会社に勤務していたこともあります。車全般の知識が業務にも活かせていると思います。

**A2** 最近は障害者総合センターの施設で、送迎の運転を依頼があります。ご利用者にはドアの開閉の際にお声かけしたり、ご家族にも安心していただけるようにコミュニケーションをとることを心がけています。



朝の送迎に向かうところ

**ワークセンターけやき(西久保オフィス)**

**水田 潤子** (デザイナー)

**技能→DTP デザイン**

\* DTP = DeskTop Publishing の略。書籍や新聞などの印刷物のデザインや印刷用データの制作。

**A1** 前職もDTPデザイナーをしていました。学校や市役所などのカラーパンフレットや冊子、文集などをご注文に応じて、お客様の希望に合うよう illusutrator、photoshopなどのソフトを使ってデザインしています。また、ご利用者にDTP作業を教えています。

**A2** ご利用者には、写真や手書き原稿のスキャン、デザイン作業、製本の他に、梱包等の手作業をお願いしています。仕事を通じて、その方の人生や生活の役に立てたらうれしいです。また、新しく入った方には私が付きっきりで教えるだけではなく、先輩ご利用者の姿を見て学んでいただくようにしています。



お客様のご希望に合わせた完成形



パソコンと専用ソフトでデザインします

**デイセンターふれあい**

**本川 如子** (支援スタッフ)

**特技→創作活動 経験→営業**

\*つむぐと=当法人の創作活動・創作作品の総称。

**A1** 美術系の学校を卒業し、デザインや写真、営業関係の仕事を経て、入職しました。つむぐと\*に創作知識のある職員がいなかつたので、適切な画材の使用などのアドバイスをしています。商品の売り込み方などは営業の経験が活かされています。

**A2** 絵を描くときの私自身の世界と、ご利用のもつ世界が似ていて、気持ちがわかります。ご利用者の世界観を邪魔しないよう、寄り添ってその方の表現につなげています。一緒に創作をすることで、「絵を描くことが楽しい！」と思ってくださるようになった方もいました。



ふれあい作品で人気のペイントしたTシャツとスニーカー

## 武藏野市立みどりのこども館

平沼 勝也 (みどりのこども館館長)

特技→日曜大工

**A1** イレクター（スチールパイプとプラスチックジョイントの組み合わせによって自由設計が可能な組立素材）を使って、ウィズの給食を載せるワゴンや、座位が不安定な子どもがトイレに座るときの手すりなどを作りました。



給食のワゴン

**A2** 環境を整えることで、給食の後に子どもがトレーをワゴンに片付けたり、手すりがあることでトイレに安定して座っていられるなど、身の回りのことを「自分でできる」経験が増えるとうれしいです。



トイレの手すり

## ワークセンター大地

今村 祐史 (支援スタッフ)

特技→映像作成・編集

**A1** 学生時代に映像制作のサークルに所属していたときに動画編集のスキルを身につけました。入職前にはYoutubeチャンネルを運営している企業から編集の仕事を受注していました。

それらの経験を活かして、お楽しみ会で使う動画の編集を行いました。今後はつむぐと製品の紹介動画を作る予定です。



ハワイ動画とクイズの様子

**A2** 5月のお楽しみ会用として、ハワイ旅行をテーマにYouTubeの旅行動画等を組み合わせて、大地から飛行機に乗ってハワイに行ったような気分が味わえる動画を作りました。道中ではハワイに関するクイズを出題して、ご利用者が参加できる部分を入れました。ご利用者のなかにはこの動画をきっかけにハワイに興味をもって調べてみたり、「アロハー」とあいさつしてくれる方がいらっしゃいました。

## ゆとりえ

阿部 徳子 (生活支援コーディネーター)

資格→介護予防運動指導員

**A1** 生活支援コーディネーターとして、地域の集まりに参加しています。その際に参加者の方々と介護予防の体操をしています。椅子に座ったままできる体操で、深呼吸から始め、ストレッチ、上肢、下肢の

運動へと続けます。簡単な動きから徐々に強度を上げて、最後は脳トレと運動を合わせたものを行います。夏は額に薄っすら汗をかく程度に、冬は体がポカポカ温まるくらいを目標にしています。



お寺のサロンで体操しています

**A2** 腕の曲げ伸ばし体操を「肩、前、肩、上」と声をかけながら行うと参加者はスムーズに行えますが、同じ動きを「1・2・3・4」と号令にすると、途端に動きがバラバラになり、真剣な顔から表情がほぐれ、笑い声が響きます。終了後には「疲れた」「気持ちよかった」「体が楽になった」などとさまざまな感想が聞かれます。それを励みに次回も頑張ろうと思います。





「あったかまつり」にて。一番右が、指田ふみさん

広く公募するようになり、今では1回の公募で100点強の作品が集まる」とあります。あつたかまつり実行委員会で選ばれた8点ほどの作品が、ポスターをはじめ、チ

障害児も通える造形教室「小ちゃなアトリエ いまじなしおん」（以下「いまじなしおん」）を主宰する指田ふみさん。社会福祉法人武藏野（以下「武藏野」）とのかかわりは「武藏野」が事務局を運営している「ねりしのあつたかまつり」（毎年10月開催）のポスター制作が、その始まりです。

たちをはじめ幅

ラシやパンフレットに使用されています。「よ／見せたい！」というパワーや見栄が感じられないのが、最大の魅力です」と、障害がある方々の作品について語る指田さん。幼い頃、「いまじなしおん」の健常者クラスに通っていた指田さんは、美大生のときに「いまじなしおん」でアルバイトをすることに。そのとき初めて自閉症の生徒さんの作品を田の端たりにし、衝撃を受けたと語ります。「田分には描けない線や色がある」と。

「私たちにとつては、趣味や習う事は当たり前ですがある方が、家と施設以外の居場所を確保する」と、趣味をもつるようになります。福祉現場の豊富な課題なのです。

「これは障害がある方々も回ります」と指田さん。 「いまじなしおん」にこるときは、家とは違う一面を見せてくれたり、気持ちが落ち着く」ともあるのだとか。障害がある方が通える造形教室はあまりありませんから、おもいきり創作活動ができる、余暇の時間がもてる「いまじなしおん」のような居場所は、とても貴重なのです。

「Open the egg」のじんをわいと知りともいって、障害者アートを広めるのが指田さんの展望です。今後ZOOMを通して積極的に情報発信をしていきます。毎年4月に「いまじなしおん」で展覧会も開催するので、躍動感あるゴリーカークな作品の数々をぜひ間近で見てみてください。

（聞き手 社会福祉法人武藏野 早川 友紀）

たて糸糸  
よこ糸

ちい 小ちゃなアトリエ  
「いまじなしおん」

小ちゃなアトリエ  
「いまじなしおん」

〒180-0014  
東京都武蔵野市関町2-26-18  
TEL: 0422-54-8319



Web Site



Open the egg  
facebook



Open the eggで販売されている衣料品や雑貨類。味わい深いアート作品が魅力的なグッズに生まれ変わります

のだいひです。

いま／言葉で表現できない方にとつて創作活動は、自分を表現し、解放するための貴重な手段です。

# えすふれつそ

ちょっとひとりきゅ

心がほっと温まるスタッフの日常をお届け♪

## 一期一会

ゆとりえ在宅介護・地域包括支援センター

井口 直子

→地図  
P.8-C



御殿山ラジオ体操に参加者の方と一緒に

在宅介護・地域包括支援センターは、高齢者の相談支援が日々の業務の中心となっています。ご利用者またはご家族から相談を受け、「自宅を訪問します。全ての人に歴史があり、思いも三者三様です。何度も面談し、熟考を重ねることも多々あります。

アプローチをする機会もあります。介

護予防も業務の一つで、外出の機会・体を動かす場作りの一環として、地域でラジオ体操を行っています。月1~2回の開催ですが、それでも回を重ねると、顔馴染みの方が増えていきます。すると、私自身もさらに地域に出る」とが楽しくなり、横のつながりが広がっていきます。

個別相談でご利用者一人ひとりと向き合う時間と、集いの場で地域の方と話す時間、この異なる時間が上手くつながり、さまざまな課題に相互的に作⽤しています。人は、知らないうちに地域で支え合っているものだと、日々感じます。

私の座右の銘は、一期一会です。これからも人との出会いを大切にし、地域の高齢者のお役に立てるよう、微力ながら努めていきたいと思います。

## 各々の「機」を大切に

地域生活支援センターびーと

土井 暢子

→地図  
P.8-D

我が家の中の紫陽花は青々と葉が茂りますが、花がなかなか咲きません。ずぼりで無計画な私の、毎年時期を考えず適当に剪定をしたりしなかつたりする」ことが原因だと思われます。

進行性の病気で入退院を繰り返しながらも、支援を受け一人暮らしを続けている「利用者がいます。先日、退院後のサービス調整をしました。再び体調が悪化しないように「準備万端にし

ないといけない」と本人以上に私が配していました。退院後の彼女に会うと、自分の病気に向き合い現状を受け止め、家族や支援者に思いを馳せながら、「将来のことはゆっくりと考えていいきたい」と話してくださいました。さまざま経験を経て、たくましく力強く生きていくとしている姿に感銘を受け、同時に自分の不安の解消を優先し、彼女の決断を待てずに支援をしていた部分もあつたのではないかと反省しました。

周囲と協力し、本来もつている「利用者の力を信じ、適切なタイミングで適度なかかわりをする。私はそんな、「機を逃さず、機が熟するのを待つ」ことができる支援者を目指していきたいです。



電話で相談を受けているところ

私がそれをできるようになる」、「我が家の紫陽花も美しく咲くのではないかと思います。

# 笑門来福

情熱と誇りを胸に



皆さまには日頃より温かい励ましとご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生・流行から3年余りが経過しました。

この間、法人は職員一体となって、感染拡大防止対策を徹底しながら、ご利用者の皆さまの暮らしを支援してまいりました。

5月8日より、感染症法での位置付けが2類相当から5類に変更となります。法人は一般事業所とは異なり、感染による重症化リスクの高い方が入所・通所する高齢者施設や障害者施設を運営していることから、感染拡大防止を最優先としつつ、社会情勢の変化等を見極めながら、適切に事業運営を継続してまいります。

さて、4月より新年度に入りました。

令和5年度は第五期中期基本計画の最終年度であり、次期計画を策定する重要な年でもあります。重点項目に掲げた事業の仕上げに努めるとともに、経営課題の解決に向けて取り組みを進めています。その一つに、武藏野福祉作業所の建て

替えがあります。

武藏野福祉作業所は、昭和44年4月に東京都が現武藏野中央図書館の場所に開設し、平成4年9月に現在の場所に移転。平成19年4月に法人が経営移譲を受けました。

現在の建物は老朽化が進んでおり、ご利用者の皆さまに安全で過ごしやすい環境を提供するため、建て替えを行う方針です。まだ数年先の予定ですが、関係団体やさまざまな皆さまのご理解をいただきながら、計画の進捗に合わせて、随時お知らせしてまいります。

先の見通しが難しい時代ですが、30年以上にわたる実践と工夫の積み重ねで培ってきた法人マンドとプライドで、職員一同この困難な状況を乗り切ってまいります。

なお、4月から当法人に11人の元気あふれる新入職員たちが加わりましたので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(理事長 渡邊 昭浩)

## 社会福祉法人 武藏野 案内図

各施設は、

- 児童サービス
  - 障害者サービス
  - 高齢者サービス
- に色・書体分けしています。また、Ⓐ～Ⓑは本誌に記事を掲載している施設です。

武藏野市桜堤ケアハウス  
軽費老人ホーム  
在宅介護・地域包括支援センター  
放課後等デイサービスパレット  
ハピットサテライト



### 編集後記

新規職員募集中！特技や趣味を活かして働く魅力的な職場です。武藏野で一緒に働きませんか？（さ）